

柿園増殖計画における経営上の問題点

和田 武利  
(福岡県農業試験場)

WADA, T.

About Operating and Planning of Persimmon-orchard  
in Asakura Area, Fukuoka Pref.

福岡県の柿の生産地は耳納山麓ならびに筑後川を隔てた対岸であり、今回調査したのは朝倉郡朝倉町である。

本町は純農村地帯でありながら耕地面積は狭い(平均75a)、調査農家は平均111aと比較的広いが、その耕地は7団地に分散し、1団地17aにすぎず、距離は遠く400~500mの間に耕地の44%があり、耕地条件は良好とはいえない。これを解決するには交換分合を行うより他に方法はないが現在の集落構成では1農家1団地にするわけにはゆかないだろうが、せめて3団地くらいには集団化し、合わせて農道の整備を行い労働能率の上るよう生産基盤の整備を行う必要がある。

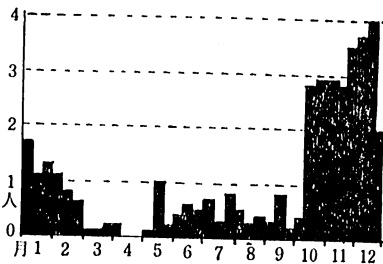
経営の集約化過程をみると普通作経営が基盤になり、資本の蓄積が進むとそれを再投資して経営の集約化が進められてゆく。朝倉町における普通作経営の所得をみると第1表のとおり極めて少なく、農業所得で再生産に投資できる資本というのは殆んどない。柿園10aを育成するには年々1万~1.6万円の資本を必要とするが、それだけの資本を捻出するのは並大抵ではない。そこで農家は補助金とか融資金をうけることに

なるが、現在のように短期でしかも比較的高利の農業金融では借入れてもその返済に困る結果となる。

次に労働の面からみると10a当り39人を要し、その配分をみると第1図のとおり10~12月の収穫出荷作業が大きなピークとなる。この時期は稲収穫、麦播種と激しく競合する。臨時雇が簡単に入手可能であれば問題ないが、今後の労働事情を考えると容易ではないと思われる。

柿の収穫出荷は10月以後になるが、ミカン、リンゴの出廻りと競合するため出荷方法等についても充分検討し有利に販売する方法を確立する必要がある。

第1図 柿園経営所要労力(10a当り)



第1表 農業所得及び農業資本

| 類型名  | 農業          |             |            | 耕地10a当り     |             |            | 家族労働1日当り所得        |                    | 農業資本額        |              |               | 利子額<br>(率6%として)<br>(千円) | 家族労働報酬<br>(千円) | 資本純収益(1日500円として)<br>(千円) |
|------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|------------|-------------------|--------------------|--------------|--------------|---------------|-------------------------|----------------|--------------------------|
|      | 粗収入<br>(千円) | 経営費<br>(千円) | 所得<br>(千円) | 粗収入<br>(千円) | 経営費<br>(千円) | 所得<br>(千円) | 家族労働1日当り所得<br>(円) | 家族労働1日当り所得<br>(千円) | 経営資本<br>(千円) | 土地資本<br>(千円) | 農業総資本<br>(千円) |                         |                |                          |
| 普通作  | 309         | 116         | 193        | 39          | 15          | 24         | 357               | 85                 | 460          | 1,072        | 1,532         | 92                      | 102            | △150                     |
| 田畑輪換 | 680         | 339         | 341        | 56          | 28          | 28         | 446               | 127                | 986          | 1,525        | 2,511         | 151                     | 190            | △41                      |
| 果樹作  | 1,068       | 407         | 661        | 87          | 34          | 53         | 1,082             | 289                | 1,341        | 1,549        | 2,890         | 173                     | 488            | 325                      |

備考 資本純収益は家族労働1日500円として計算。

普通作経営5戸、水田48a、陸田12、畑7、果樹園13、計80a。

田畑輪換経営10戸、水田60、陸田18、畑12、果樹園27計117a。輪換面積19a。果菜類等をさいが殆んどである。さい収入149千円で粗収入の22%を占めている。

果樹経営5戸 水田52、陸田3、畑6、果樹園75、計136a。果樹収入61万円で粗収の57%を占める。